



王朝文化への

ひなびとこ

戦前期女子教育にあける

開館時間 午前10時～午後4時30分

閉館日 土曜・日曜・祝日

場所 武庫川女子大学 学術研究交流館5階ギャラリー

● 展覧会に関連するイベントはHPでお知らせします●

武庫川女子大学附属総合ミュージアム

Mukogawa Women's University Museum

アクセス 阪神電車「鳴尾」武庫川女子大前」から徒歩5分

HPで新型コロナウイルス感染症対策および最新情報を必ずご確認ください。

<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum/>

2021
10/20(水)
—12/8(水)



王朝文化への よなび

戦前期女子教育にむける

この度の秋季展では、武庫川女子大学附属総合ミュージアムが所蔵する戦前・戦中・戦後期の教育標本資料から、京都府立女子専門学校旧蔵資料を主に構成する有職人形と裁縫雛形、郷土人形を中心にご紹介します。有職人形とは、有職故実という公家や武家の昔から伝わる儀式や制度、風俗や習慣を研究する学問によって解明されてきた歴史的服飾をまとった人形です。この有職人形と郷土人形はともに初公開になります。本展覧会では、これらの教育標本資料群とその背景からみえてくる、当時の女子に対する教育観や生活文化などにスポットを当てます。普段の生活ではあまり意識することのない王朝文化へのよなびと、その反映としての受容の諸相について、改めて考える機会となれば幸いです。



①



⑤



⑥



⑦



⑧



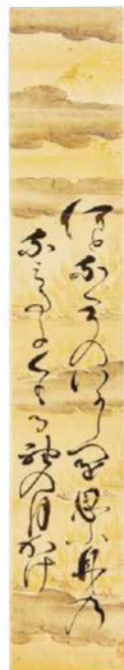
②



③



④



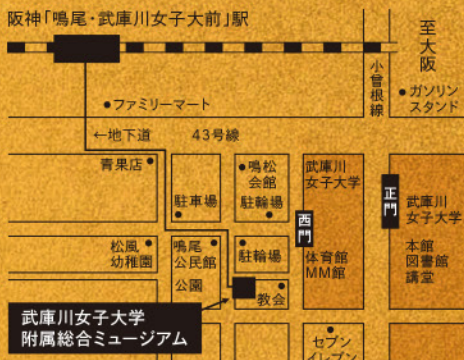
⑨



⑩



⑪



表面：有職人形「女官束帯三位」(右)・「女官礼装」(左) 島津製作所標本部製(昭和戦前期)
 (右上から)彩色土人形 伏見人形「鯉頭喰人形」 稲畑人形「釣鐘金時」「鯛持ち恵比寿」
 裏面：①～④裁縫雛形「桂・単・裳・唐衣」 ⑤朝鮮人形 ⑥入道人形 ⑦稲畑人形「布袋」
 ⑧彩色土人形 ⑨冷泉為籍筆 短冊「何となく」(江戸時代前期) ⑩入道人形脚手富貴
 ⑪大礼服(大正～昭和戦前期)

武庫川女子大学附属総合ミュージアム
 Mukogawa Women's University Museum

〒663-8184 兵庫県西宮市鳴尾町1-10-21
 アクセス=阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」から徒歩5分
 電話=(0798) 45-3509
<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum/>

展覧会に関する
 イベントは
 HPでお知らせします

HPで新型コロナウイルス
 感染症対策および最新情報を
 必ずご確認の上ご来館ください

